

## 能越自動車道工事見学

～大呑保育園児20人が大興奮～



8月17日(金)：能越自動車道工事現場（佐々波町）

大呑保育園の園児20人は、平成25年3月の開通（七尾城山IC～七尾大泊IC間）を目指している能越自動車道の建設現場で、働く車とふれあった。園児たちは、大きな山を削ったり、土を盛って道を作ったりする工事の説明に関心を示していた。巨大なパワーショベルに乗り込み、係員と一緒にレバーを操作しながら大きなアームを動かした。園児は「大きな機械がレバーだけで動いたので楽しかった」と大興奮。園児たちにとって、普段見られない工事現場を間近にして興味津々の様子だった。

## 天神山小学校創立30周年記念イベント

～懐かしい思い出に浸る～

8月25日(土)：天神山小学校

天神山小学校創立30周年を記念したイベントに在校生や卒業生、保護者などが参加。30年の歴史展示やバルーンアートなどの体験コーナーではたくさんの参加者が楽しんでいた。卒業生が、10年前に埋めたタイムカプセルを開き、将来の自分に宛てた、なりたい職業や好きなタレントのことなどを書いた手紙を、恥ずかしそうに読んでいた。平成15年に卒業した川口莉奈さんは「算数は苦手科目だったが、今は得意科目になっている」と自分の成長ぶりを感じていた。卒業生にとって、学校生活の懐かしい思い出に浸るひと時となった。



## おぼえよう! ななお健康づくり体操（仮称）

～ユニークな振り付けと軽快なリズム～



9月14日(金)：田鶴浜小学校

田鶴浜小学校5年生と6年生約100人は、市民の運動不足や肥満の解消を目的とした『ななお健康づくり体操（仮称）』を練習した。歌詞には、お熊甲祭や石崎奉燈祭などの伝統的な祭りや能登島の名所を紹介。歌は6年生が歌い、体を揺らしたユニークな振り付けと軽快なリズムで大人から子どもまで楽しめる。この体操は、普段あまり使わない体の部分を動かすことが出来る。練習では、恥ずかしそうにする児童や楽しんでいる児童が見受けられた。児童には、親しみやすい体操を通じて、体を動かすことの大切さが伝わったのではないかと。



9月3日(月)：小丸山小学校

小丸山小学校5年生は、日本の伝統芸能『能楽』を学んだ。650年間、脈々と受け継がれ、現代でも基本の形を変えていない演劇。11月の発表会に向けて約11回の授業を行う。最初は、小さな声で謡っていたが、回数を重ねるうちに大きな声が出るようになった。高田大士(だいし)君は「扇子の開き方が難しかった。発表会に向けて一生懸命がんばる」と意欲的。小学生には、能楽を通して礼儀作法を学び、豊かな人間性を育ててほしい。

## 能楽教室

～豊かな人間性を育む～



8月24日(金)：崎山公民館

世界各国の留学生23人が石川県内の各市町に滞在し、国際交流をするJAPAN TENT。今年で25回目を迎えた。今回は、海と山に囲まれた自然豊かな崎山地区を舞台に、魚さばきや太鼓打ちの体験を楽しんだ。シイラという大きな魚をさばいたイタリア出身のミケーレさん(22歳)は「魚はぬるぬるして、思ったより切りにくかった」と話した。留学生にとって、七尾の暮らしや文化に触れる良い機会となったのではないかと話した。

## JAPAN TENT in 七尾

～七尾の暮らしや文化に触れる～



9月13日(木)：七尾市役所

定住人口の拡大を後押しする『地域おこし協力隊』に、千葉県東金市で農業経営に取り組んできた志野佑介さん(29歳)が公募で選ばれた。県内では初めての取り組み。家族4人で能登島に移り住み、農産物加工品の開発や農業体験のメニュー企画を行う。志野さんは「能登島のファンが増えるための取り組みをしたい」と意気込みを話した。「よそ者」の視点で能登島に、新たな風を吹き込んでほしい。

## 県内初『地域おこし協力隊』が能登島へ

～「よそ者」の視点で新たな風を～



9月4日(火)：中島小学校

市民のねがい活動推進委員が、『市民のねがいー七尾市民憲章ー』の意味を、中島小学校4年生に説明。『なみおだやかに碧光り』の部分では、波が穏やかな七尾湾や森などの自然を大切にすまちと紹介。受講した坂口瑠璃(るい)君は「魚やカキが獲れる七尾湾の青色と森の緑色が合わさって、碧い光になることを知って感動した」と話した。最後は、全員で市民憲章を唱和。子どもたちは、授業を通じてお互いに助け合う心を学んだのではないかと話した。

## 市民のねがい七尾市民憲章を学ぶ

～市民のしあわせを願う～



9月19日(水)：七尾市役所

中島第四寿楽クラブは、中島町の国道249号沿線1.3キロメートルで、花壇などの手入れや除草作業などを25年間続けてきた。長きに渡る活動が評価され、石川県では13年ぶりに国土交通大臣表彰を受賞。山本信代表は「活動日に参加できない人は、前の日にできる範囲でやってくれている。72人の会員の皆さんに感謝したい」と会員をねぎらった。この活動が、七尾市が目指す市民協働のまちづくりの推進に、力強い後押しとなっている。

## 中島第四寿楽クラブ

～国土交通大臣表彰受賞～



9月19日(水)：デイケアセンターすそやか

週に2回通っている施設で、家族や職員など多くの人たちが集まり、文子さんを盛大に祝っていた。文子さんは、終始恥ずかしそうに「ありがとう、ありがとう」と頭を下げ、感謝の気持ちを伝えていた。長生きの秘訣を聞くと「好き嫌いがいいことかえ。3度の食事、自然とお腹が空くから食べるわいねえ」と話し、周囲を笑わす一面も。日常は、昼寝をしたりテレビを見たりして過ごす文子さん。いつまでもお元気で長生きしてください。

## 100歳誕生日おめでとうございます

～高橋文子さん～